

バラシクロビル錠 500mg「DSEP」

を服用される 患者さんのご家族の方へ



腎機能障害のある患者さんや血液透析を受けている患者さんでは、本剤の投与間隔をあけて減量して投与する必要があります。

本剤の使用にあたっては、表紙裏の「医師・薬剤師の皆様へ」の内容を十分にご確認ください。



第一三共エスファ株式会社

腎機能に障害のある患者さんへの減量について

- 腎機能に障害のある患者さん(高齢者も含む)や血液透析を受けている患者さんでは、精神神経系の副作用があらわれやすくなります。
 - ・意識障害、せん妄、妄想、幻覚、錯乱、けいれん、てんかん発作、麻痺、脳症等
- 腎機能に障害のある患者さんに本剤を投与する場合は、下記の腎機能に応じた本剤の減量の目安を参考に、患者さんの状態を観察しながら慎重に投与してください。

バラシクロビル錠500mg「DSEP」添付文書(抜粋)

<用法・用量に関連する使用上の注意>(抜粋)

- 腎障害のある患者又は腎機能の低下している患者、高齢者では、精神神経系の副作用があらわれやすいので、投与間隔を延長するなど注意すること。なお、本剤の投与量及び投与間隔の目安は下表のとおりである。また、血液透析を受けている患者に対しては、患者の腎機能、体重又は臨床症状に応じ、クレアチニンクリアランス10mL/min未満の目安よりさらに減量(250mgを24時間毎等)することを考慮すること。また、血液透析日には透析後に投与すること。

クレアチニンクリアランス (mL/min)	単純疱疹/造血幹細胞移植における単純ヘルペスウイルス感染症(単純疱疹)の発症抑制	帯状疱疹/水痘	性器ヘルペスの再発抑制
≥50	500mgを12時間毎	1000mgを8時間毎	500mgを24時間毎 なお、HIV感染症の患者* には、500mgを12時間毎
30～49	500mgを12時間毎	1000mgを12時間毎	500mgを24時間毎 なお、HIV感染症の患者* には、500mgを12時間毎
10～29	500mgを24時間毎	1000mgを24時間毎	250mgを24時間毎 なお、HIV感染症の患者* には、500mgを24時間毎
<10	500mgを24時間毎	500mgを24時間毎	250mgを24時間毎 なお、HIV感染症の患者* には、500mgを24時間毎
血液透析患者	患者の腎機能、体重又は臨床症状に応じ、クレアチニンクリアランス10mL/min未満の目安よりさらに減量(250mgを24時間毎等)することを考慮すること。また血液透析日には透析後に投与すること。		

*: CD4リンパ球数100/mm³以上

体内の薬物動態には個人差があるため、目安通り投与された場合でも精神神経系の副作用が発現する可能性がありますので、このような副作用が発現した場合には直ちに服用を中止し、医師に連絡するよう患者さんにご説明ください。

脱水状態下では腎障害が起こりやすくなるので、脱水症状を起こしやすい患者さんには、適切に水分を摂取するようご指導ください。

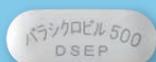
バラシクロビル錠500mg「DSEP」

を服用される患者さんとご家族の方へ

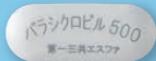
**単純ヘルペスウイルスおよび
水痘・帯状疱疹ウイルスの増殖を抑えるお薬です。**

通常、単純疱疹、帯状疱疹、水痘の治療や、造血幹細胞移植の際の単純疱疹の発症抑制、性器ヘルペスの再発抑制に用いられます。

バラシクロビル錠500mg「DSEP」



表



裏



側面



*錠剤は実物大です。

バラシクロビル錠500mg「DSEP」を服用される前に

次のような方は、服用前に必ず医師または薬剤師にお伝えください。

- 過去に薬を服用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状がでたことのある方
- 妊婦、妊娠している可能性がある、または授乳中である方
- 腎臓の病気にかかっている方
- 透析を受けている方
- 最近、尿の量が少なくなったり、むくんだことがある方
- 他のお薬を服用している方

服用方法について

- 服用量・服用回数は、患者さんの症状などにあわせて医師が決めます。
- 2回分を一度に飲まないでください。
飲み忘れた場合は、気がついた時に1回分を飲んでください。
ただし、次の服用時間がせまっている場合は1回分とばし、次の服用時間に1回分を飲んでください。
- 誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- 医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

(裏面も必ずお読みください)

服用中に注意していただきたいこと

次のような症状がみられましたら、すぐに医師または薬剤師に相談してください。

頭痛、意識低下、腹痛、吐き気、下痢、過敏症（発疹、蕁麻疹、かゆみ、光過敏症）などの症状があらわれることがあります。



頭痛



意識低下



腹痛

まれに次のような症状があらわれる可能性があります。このような場合は、使用をやめてすぐに医師の診療を受けてください。

- 発疹、呼吸困難、血管浮腫、立ちくらみ〔アナフィラキシーショック、アナフィラキシー〕
- 尿量減少、むくみ、頭痛〔急性腎不全〕
- 意識がうすれる、幻覚、けいれん〔精神神経症状〕
- 発疹、皮膚に赤い発疹・水疱、目の充血〔中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群〕
- 全身倦怠感、食欲不振、皮膚や粘膜が黄色くなる〔肝機能障害、黄疸〕

上記以外にも気になる症状があらわれた場合は、医師または薬剤師に相談してください。

日常生活で注意していただきたいこと

- 服用期間中は、普段より水分を多めにとってください。
脱水状態になると副作用が発現しやすくなります。
- 意識障害などがあらわれることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作を行う場合は十分に注意してください。
- 特に腎臓に障害のある方や高齢の方は、神経精神症状などがあらわれやすくなります。

保管方法その他

- 乳幼児、小児の手の届かない所に保管してください。
- 直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- 薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄については、受け取った薬局や医療機関に相談してください。

連絡先(医療機関名)



Daiichi-Sankyo

第一三共エスファ株式会社

EPVALIP00201-1

2020年6月作成

製造販売元

第一三共エスファ株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1



販売提携

第一三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1

EPVAL1P00201-1

2020年6月作成